

# がん化学療法科 ニュースレター(仮称) 第5号



## 東日本大震災

陸前高田市の医療支援に3月21日から23日まで行ってきました。津波の爪あとは生々しく、津波が来たところは人工物が悉く壊されていました。屋根に屋根が突き刺さっているような、ありえない状況がここかしこで見られました。本当に比較するものがない大災害であると思います。地震、そして津波に会われた方には、謹んでお悔やみ申し上げたいと思います。

元々、陸前高田市には70床の県立高田病院があり、当院から若手医師が交代で診療応援しておりました。報道されている通り3月11日の津波で、県立高田病院は壊滅的な被害を受け、多くの開業医の方も被災されたので、陸前高田市の医療も成り立たなくなっています。避難所生活を送る方も数多く、日頃、内服されていた薬もない状況となり、医療の需要は非常に多いのですが、医療の供給体制が根本からなくなっていました。

当初、多数のDMAT(災害派遣医療チーム)が全国から召集され、急性期の医療を担いました。DMATの活動は、72時間単位で、この時間を経過すると徐々にチームは少なくなっていくます。

私が陸前高田市に応援に行った時点では、丁度、この移行後にあたる時期でした。その時点で、陸前高田市に入っている医療チームは、広田地区・県立中央病院、小友地区・千葉県チームと関西医大、米崎地区・三重大学、竹駒地区・聖マリア病院、長部地区・岩手医大と秋田大学・岡山大学、高田・矢引地区・日赤グループでした。全体を県立高田病院の石木院長がコーディネートされていました。

広田地区では、広田小学校が拠点の避難所となっており、広田診療所の機能がここに移されていました。広田診療所には近江先生という、心臓外科医のベテランの先生がいらっしやって、診療されていましたが、被災されていたので、一旦休まれるということで、広田地区の医療支援を行うのが我々の使命でした。広田小学校の保健室に診察できるスペースを作って、処方したり、処置を行ったりしました。なかなか十分な医療が提供できるような環境ではありませんでしたが、広田診療所のスタッフと、当院のスタッフに加えて、千葉市立青葉病院のスタッフ、神奈川県大和市のスタッフの協力もいただいて、診療体制を整えることができました。

避難所は、小学校の教室で、凡そ集落ごとに一教室30名程度までの方が生活されていました。日中は、行方不明者の捜索や家屋の整理、支援物資の搬送など様々に活動されている方が多いようでした。電気、ガス、水道のライフラインは失われており、灯油ストーブが唯一の火の気といった感じです。寒さは厳しいものがあります。良く、住民の方が協力されて生活されていたと思います。

彼の地で何が必要でしたかと聞かれることがあります。住民の方が一番必要とされているのは、人手で運べないもの、すなわちライフラインと思われれます。お風呂の希望も非常に強いです。米崎地区には、自衛隊の方が入浴設備を作られているのですが、広田地区には入浴できる環境は、まだまだ整はないようでした。五葉温泉は稼働しているという噂でしたが、黒崎温泉は、その時点では、稼働できないと聞いておりました(配管が大丈夫なら、ポンプが動かせれば営業できるか?)。早く、住民の方々がゆっくり湯船に入って、ほっと一段落できるように祈っております(加藤)。

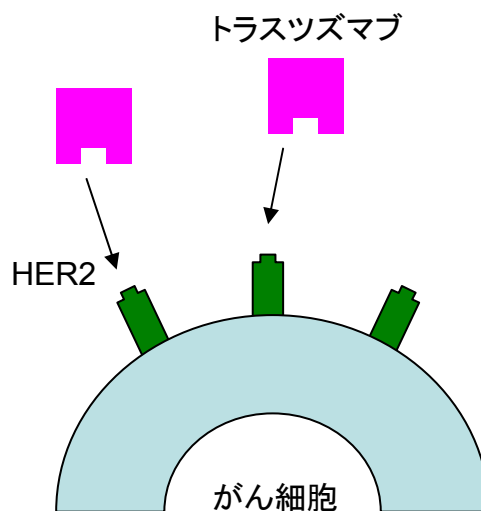


## HER2陽性進行再発胃癌に対して、トラスツズマブ（ハーセプチン）が承認されました

進行再発胃癌のうち、癌細胞の表面にHER2というタンパク質が発現されているタイプの胃癌に限っては、HER2を認識するモノクローナル抗体である、ハーセプチンという薬剤を投与することによって、化学療法の治療効果を上乗せできることが証明されています（ToGA 試験）。

このタイプの胃癌は、胃癌のうちの20%前後と見積もられていて、全ての胃癌の方に使用できる訳ではありませんが、胃癌で初の分子標的薬となるものです。使用にあたっては、HER2が発現が高い腫瘍なのか、検査してみることが必要です。

単独では投与せず、化学療法との併用で投与されます。臨床試験の際には、5FU+シスプラチン、或いはカペシタビン+シスプラチンに上乗せする形で投与が行われましたので、それに則った形での投与となると思われます。どのような薬剤の組み合わせが最適なのかは未だ結論が出ておらず、今後さらなる治療開発が進められていくことと思われます。



## お花見について

例年であれば、そろそろ桜の開花が待ち遠しく、どこにお花見に行こうかと計画を立てる時期なのですが、今年はなかなかそういった気分になれません。去年は、盛岡城跡公園で、家族でお弁当を持って出かけました。今年はどうでしょうか思案中です。学会なども、4月に予定されていた全国学会は次々中止となり、自粛ムードなのです。散歩だけでもしてこようかなあと考えているところです(加藤)。



## MEMO 4月のがん化学療法科の予定

4月22日 柴田教授外来(予定)

(秋田新幹線の運行状況などにもよりますので、変更がありうるかもしれません。)

桜の開花予想 4月22日  
満開 4月26日

